

教科	地歴科	科目（単位数）	世界史 A（４）	学年	3	類型	普通科
学習目標	近現代史を中心とする世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することにより、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
期間	単元（学習内容）		学習の到達目標			自己評価	
年度初 ～５月末	○結びつく世界と近世の日本 ・14～15世紀の東アジア ・16～17世紀のアジア		・明の成立以降、明を中心とする東アジアの冊封 ・朝貢体制の確立について考察し、ヨーロッパの進出とアジア各国の対応などを理解する。			知・技 A B C D 思判表 A B C D 主体性 A B C D	
6月上旬 ～期末考查	・清と東アジア ・内陸アジア・南アジア ・大航海時代		・明・清帝国と朝鮮・日本との関係、ムガル帝国 ・サファイヴィー朝・オスマン帝国の動向について、諸資料をもとに基本的知識を身に付ける。 ・イスラーム世界の成熟についてオスマン帝国の宗教政策を考察しその結果を適切に表現する。 ・大航海時代のヨーロッパについて理解する。			知・技 A B C D 思判表 A B C D 主体性 A B C D	
1学期期末 ～２学期 中間考查	・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の成立、17～18世紀のヨーロッパ ・世界商業の展開		・歴史的背景について考察し、結果と影響について理解する。			知・技 A B C D 思判表 A B C D 主体性 A B C D	
2学期中間 ～期末考查	○ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ・産業革命、労働運動と社会主義のはじまり ・市民革命		・産業革命の背景および結果と影響について考察し、その歴史的意義を理解する。また、関連する資料を活用して考察し、その結果を適切に表現する。 ・アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立について基本的知識を身に付け、相互の関連性を考察する。			知・技 A B C D 思判表 A B C D 主体性 A B C D	
2学期期末 ～年度末	○アジア諸国の変貌と近代日本 ・南アジア東南アジアの植民地化 ・明治維新と東アジア、アジア諸国の変革 ○帝国主義、世界戦争と平和		・19世紀の東アジアの展開を、清朝の動揺と帝国主義化の動向を中心に考察する。 ・帝国主義列強の植民地支配についての資料を活用・考察し、その結果を適切に表現する。 ・第一次世界大戦と1920年代の世界の展開を考察する。 ・1930年代と第二次世界大戦の展開を考察する。			知・技 A B C D 思判表 A B C D 主体性 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）		教科書：「高等学校 改訂版 世界史 A」（第一学習社）					
学習方法		・各単位時間ごとのワークシート用いた作業学習（講義、発問） ・各単位時間ごとにまとめた「日々の課題」で確認					
評価方法		各学期ごとの定期考查と平常点 ・定期考查による得点評価（8割）・・・【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点別に作問・採点する。 ・教科の評価基準による平常点（2割）…授業への取組・態度、課題取組状況 授業時の発問に対し、自らの考えを適切に表現しているかを重視する。					